

[illegible]

番	項目	特記事項	概算項目
22 追加特記事項	1 公共事業労務費調査	協力する。	
	2 工事監理方式	共同監理 ・ あり なし	
	3 適用基準等	・ 「建築（設備）工事提出書類一覧表」（住宅建設課）	
	4 総合図	作成する ・ 作成しない	
	5 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献と評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。 ＜表・５＞排出ガス対策型等建設機械による。	
	6 排出ガス対策型等建設機械		
	7 アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。	
	8 疑義	ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。 本仕様及び設計図面等により施工するも多少の位置変更や疑義等生じるときは、速やかに監督員に連絡し、その指示により施工する。	
	9 火災保険	本工事受注者は監督員の指示により、長崎市建設工事請負基準約款による火災保険に加入のこと。	
	10 グリーン購入法適合品目の使用について	グリーン購入法に基づく国の「環境物品等」の調達に関する基本方針」により、本工事において、「判断の基準」を満了する特定調達品目の使用に努めること。 工事完了後、速やかに「公共工事に係るグリーン購入法適合材・建設機械調達実績報告表」に必要事項を記入のうえ、監督員に提出のこと。 （報告表形式は別途配布する。）	

< 表 - 1 > 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 平成 8 年版」による耐震安全性の分類			
		・ 特定の施設 ( ・ 甲類 ・ 乙類 )		○ 一般の施設 ( ・ 乙類 )	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1 階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器： ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置  
 ・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・

上層階の定義： 2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、1 0 ～ 1 2 階建の場合は上層 3 階、1 3 階建以上の場合は上層 4 階とする。

特記事項

記 号	仕 様
EM - C E E S	JCS 4258 D (制御用ケーブル(遠へい付))準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性®リフレンをを用いたもの
EM - U T P	JIS X 5150により、絶縁材にJIS規格によるEMケーブルの耐燃性®リフレンをを用いたもの
EM - M E E S	JIS 3271 A (MVVS)に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性®リフレンをを用いたもの
EM - E B T	EBT (電子®タ電話用ケーブル)に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性®リフレンをを用いたもの

<p>表 - 3 -      あと施工アンカー</p>	
<p>1 共通事項</p>	<p>(1) 既設のイナート及びバカパッドは原則として使用しない。やむを得ず既設のイナート及びバカパッドを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。 また、引張強度の確認試験については下記による。</p> <p style="text-align: center;">( )</p> <p>(2) あと施工アンカーについては機械設備工事標準図（施工19）による。</p> <p>(3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマードリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やストップ付きドリルの使用等を行う。</p>
<p>2 重要機器用のあと施工アンカー</p>	<p>(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アンカーは金属拡張アンカー又は接着系アンカーとし、耐震計算にて選定を行う。</p> <p>(2) 金属拡張アンカーの様は、次による。</p> <p>(ア) 金属拡張アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の金属系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。</p> <p>(イ) 金属拡張アンカーの取り付け方法は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。</p> <p>(ロ) 金属拡張アンカー本体の径及び埋込み深さは、図示による。</p> <p>(エ) タグ筋の種類、径及び長さとは図示による。</p> <p>(3) 接着系アンカーの様は、下記による。なお、下記により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。</p> <p>(ア) 接着系アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の接着系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。</p> <p>(イ) 接着系アンカーは、カプセル型とし、接着剤の材質及びカプセルの種類は図示による。</p> <p>(ロ) 接着系アンカーの埋込深さ及び許容引抜荷重については、機械設備工事標準図（施工19）による。</p> <p>(4) あと施工アンカーの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工アンカー技術管理士又は主任技士を置く。</p> <p>(5) あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アンカー施工士とする。</p> <p>(6) あと施工アンカーの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。</p>

<表 - 4 > 用語の説明

<p>( 1 ) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。</p> <p>( 2 ) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。</p> <p>( 3 ) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。</p> <p>( 4 ) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [ 1-1.4.3 ]</p> <p>( 5 ) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。</p>
--

機 種	備 考
<p>一般工事用建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックホウ</li> <li>・トラクタショベル（車輪式）</li> <li>・ブルドーザ</li> <li>・発動発電機（可搬式）</li> <li>・空気圧縮機（可搬式）</li> <li>・油圧ユニット類</li> </ul> <p>以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの</p> <p>油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバーササキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転オールケーシング掘削機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラ類（ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ）</li> <li>・ホイールクレーン</li> </ul>	<p>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。</p>

2 排出ガス対策型建設機械(第2次基準及び第3次基準)を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。

<表 - 6 > 「建設副産物特記仕様」

1. 再生材の利用

工事受注者は下記の資材の使用に準じ、再生材を利用するものとする。

再 生 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考
アスファルト混合物	⑥⑧⑨	表層工	各アスファルトプラント	
アスファルト混合物	②	基層工・仮復旧	〃	
再生 クラッシャーラン	40mm	構造物の基礎 路盤工	現場から40Kmの範囲内の再資源化施設	
再 生 路 盤 材	ARC-40	路盤工	〃	「アスファルト堆を再資源化した資材の当面の使用基準」による

2. 建設発生日の利用

盛土、埋め戻しに使用する土砂等は、現場内発生日又は下記の工事から建設発生日を利用するものとする。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

1) 建設工事の施工により発生する副産物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項の許可を受けた処分場に搬出すること。なお取扱い品目・持込み等については事前に処理業者に確認して下さい。

2) 発生土については、下記に搬出すること。( 監督員の指示による )

副産物名	施設名	施設所在地	受入時間	連絡先
発 生 土	柿町建設発生土処理場	長岡市 柿 町	9:00～17:00	

4. 建設副産物実態調査の実施

1) 受入者は「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、施工計画書に添付して監督員に提出しなければならない。

2) 受入者は「再生資源利用実態書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、工事完了後すみやかに実施状況を記録し、監督員に提出しなければならない。

3) 受入者は「再生資源利用計画書（実態書）」及び「再生資源利用促進計画書（実態書）」の作成にあたっては、「再生資源利用（促進）計画書（実態書）」の力システム」を利用することを原則とし、工事完了後に監督員にデ・タ・コ（「再生資源利用実態書」及び「再生資源利用促進実施書」）を提出するものとする。

5. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。

6. 産業廃棄物が発生した場合には適切に処理し、監督員及び検査員に、マニフェストの写し又は原本を提示すること。

7. 協議について  
建設工事発注後、やむを得ない事情により上記の指定によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し協議すること。

注) 原則 印を適用する。  
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇			備 考
1. RC造（床・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリ-フ 材及び取付け	○	○	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○							
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の重出し	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○							
2. S・SRC造 ・はり貫通口	スリ-フ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○			
	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリ-フ・補強	○							
	使用されたスリ-フの穴埋め	○	○	○	○	○			
3. 設備機器の基礎	予備スリ-フの穴埋め	○	○	○	○	○			
	建築設計図に記入のあるもの	○							
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○	○				
	屋外・屋上の基礎	○							
	屋上基礎で押さえコンにアツクしない軽微なもの		○	○	○				
	機器取付け用アツク・架台		○	○	○				
	屋内受水タンク用の基礎	○							

仕 上 げ 関 係									
軽鉄天井 ・ 壁下地	補強を要する'-'の切り込み及び下地の補強	○							
	補強を要しない'-'の切り込み		○	○	○				
	開口部の豊出し		○	○	○				

電 気 関 係									
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○				二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○							一次側
	機器より昇降機室までの配管配線及び導線配管配線								

機器と付属品1台分の取付け及び取り配管配線			○	○			
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							

天井材の 取外し再取付	各種配管配線作業用	○								小規模は監督員と協議
----------------	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	------------

床はつり補修	各種配管配線作業用	○					小規模な設備廻りと設備
床はつり補修		○					

流し台、ガス台	○							
便所手洗い カウンスター	○							衛生陶器は衛生設備

洗面化粧台				○			
-------	--	--	--	---	--	--	--

誘導標識	○					誘導灯は電気設備
ガス漏れ火災警報設備						ガス漏れ火災警報設備

万人向け避難所				○		は電気設備
24H換気扇	機器納入			○		

進動スイッチ								
	取付	○						

湯沸器 連動スイッチ	機器納入				○			

	取付	○					
上記以外 換気扇スイッチ	機器納入、取付	○					

<表 - 8> 機器取付高			
機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。			
	名称	測点	取付高 (mm)
電力 共通	取引用計器	地上 上端	2,000 ●
	引込開閉器	＃	1,800 ●
電 灯	分電盤	床上 中心	1,500 (上端1,900以下)
	タンブラスイッチ (一般)	＃	1,300 ●
	＃ (身障者用)	＃	900～1,000
	コンセント (一般)	＃	300 ●
	＃ (和室)	＃	200 ●
	＃ (台上)	台上 中心	150 ●
	ブラケット (一般)	床上 中心	2,100 ●
	＃ (踊場)	＃	2,500 ●
	＃ (鏡上)	鏡端 中心	150 ●
	＃ (浴室)	床上 中心	天井高×0.9 ●
	非常照明器具用遮断器		1,200 ●
	避難口誘導灯	床上 下端	1,500以上 ●
	廊下通路誘導灯	床上 上端	1,000以下 ●
動 力	壁掛型制御盤	床上 中心	1,500 ●
	手元開閉器	＃	1,500 (上端1,900以下)
	操作スイッチ・押ボタン	＃	1,300 ●
電 話	室内端子盤	床上 下端	300 ●
	中間端子盤	床上 中心	1,500 ●
	保安器箱	＃	天井高×0.9 ●
	壁掛位置ボックス (一般)	床上 中心	300 ●
	＃ (和室)	＃	200 ●
時 計	壁掛形腕時計	床上 中心	1,500 (上端1,900以下)
	子時計	＃	天井高×0.9 ●
拡 声	壁掛形スピーカ	床上 中心	天井高×0.9 ●
	壁付音量調整器	＃	1,300 ●
表 示・ 電 鈴	表示盤	床上 中心	天井高×0.9 ●
	壁付発信器	＃	1,300 ●
	ブザー・ベル	＃	天井高×0.9 ●
	押ボタン (一般)	＃	1,300 ●
	＃ (身障者用)	＃	900～1,000
イン ター ホ ン	壁付インターホン	床上 中心	1,300 ●
	身体障害者用	＃	1,000 ●
	壁付位置ボックス (一般)	＃	300 ●
	＃ (和室)	＃	200 ●
テ レ ビ	機器収容箱	床上 中心	1,500 ●
	テレビアウトレット (一般)	＃	300 ●
	＃ (和室)	＃	200 ●
火 災 報 知 器	受信機・副受信機	床上 操作部	800～1,500
	専用総合盤	床上 中心	●
	発信器	＃	●
	ベル	＃	● 2,300 ●
	消火栓・表示灯	＃	2,100
	試験器	＃	1,500
ガ ス 漏 報 器	ＬＰガス用	床上 上端	300以内
	都市ガス用	天井面 下端	300以内

発注者  
長岡

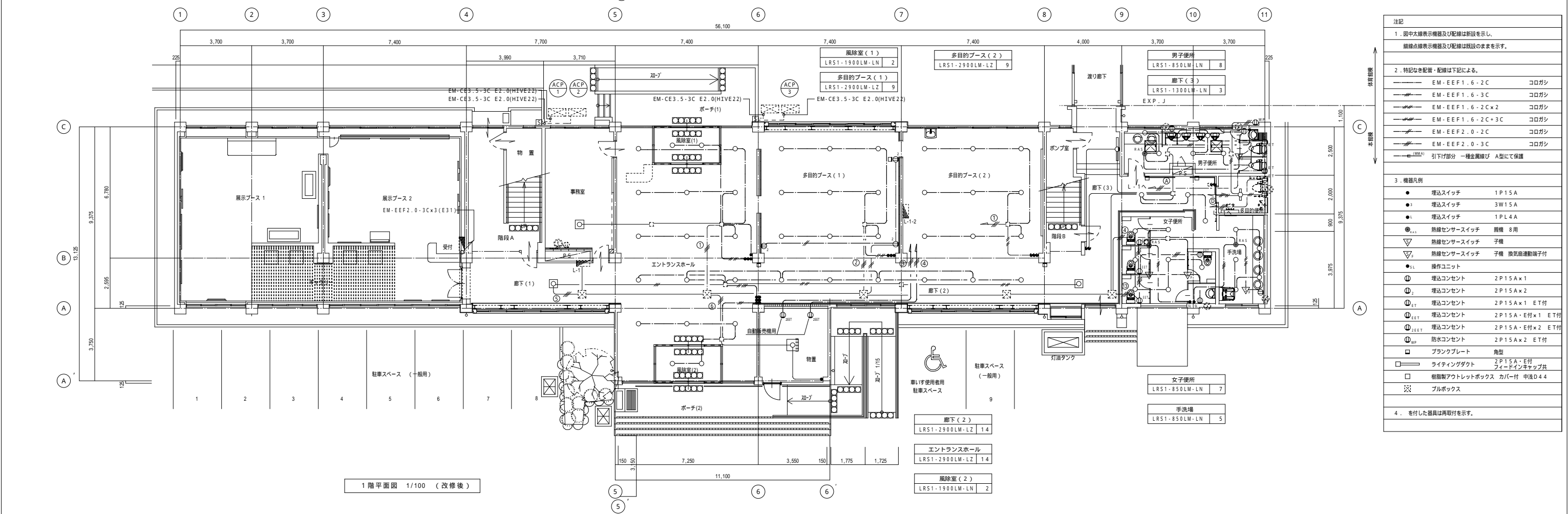
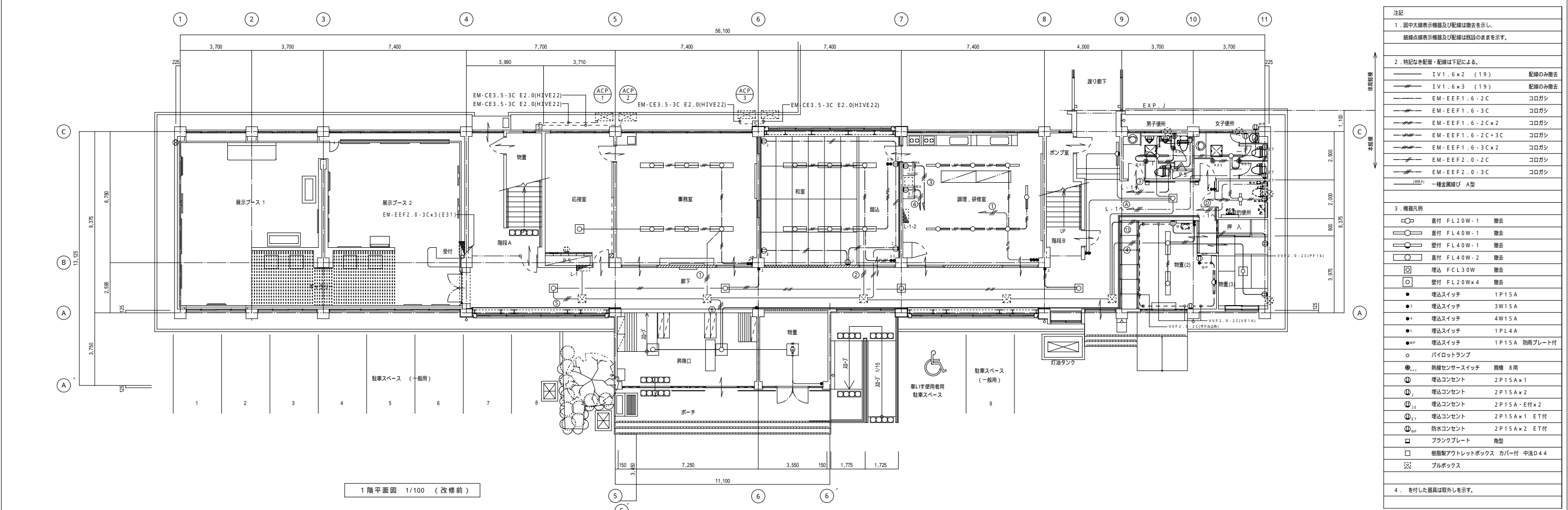
市都市整備部住宅施設課

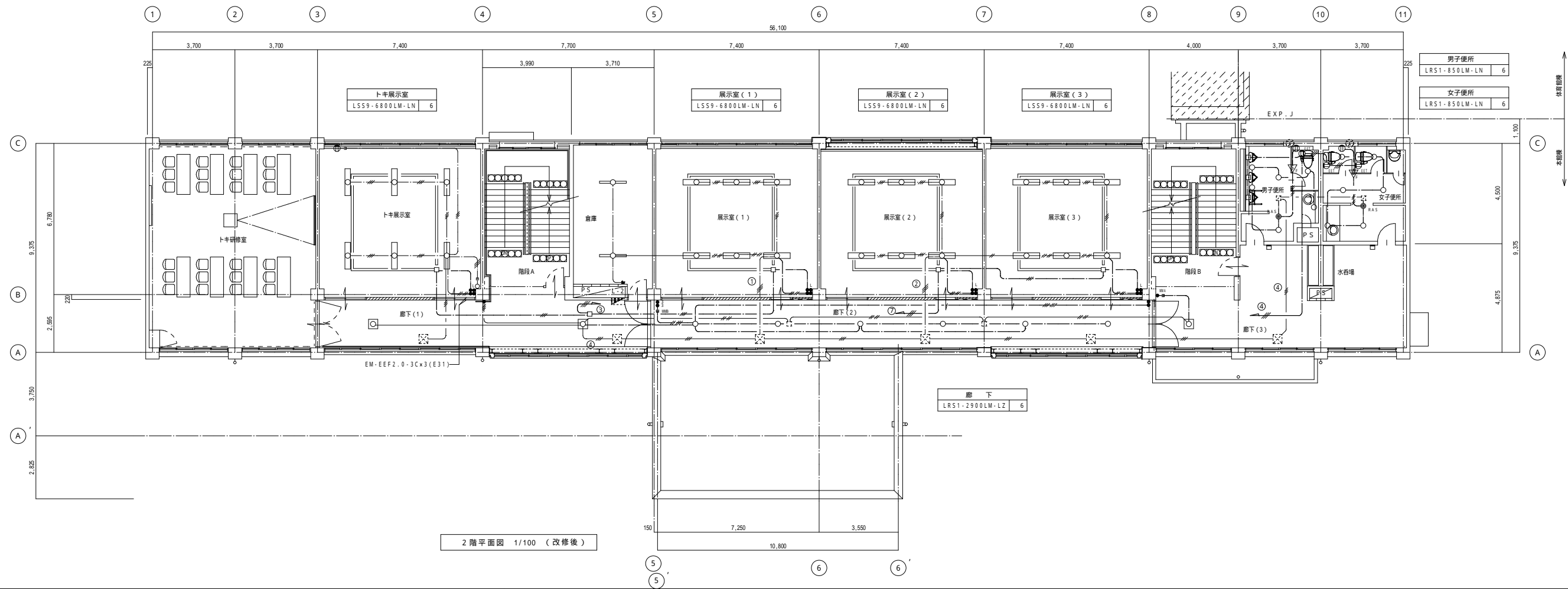
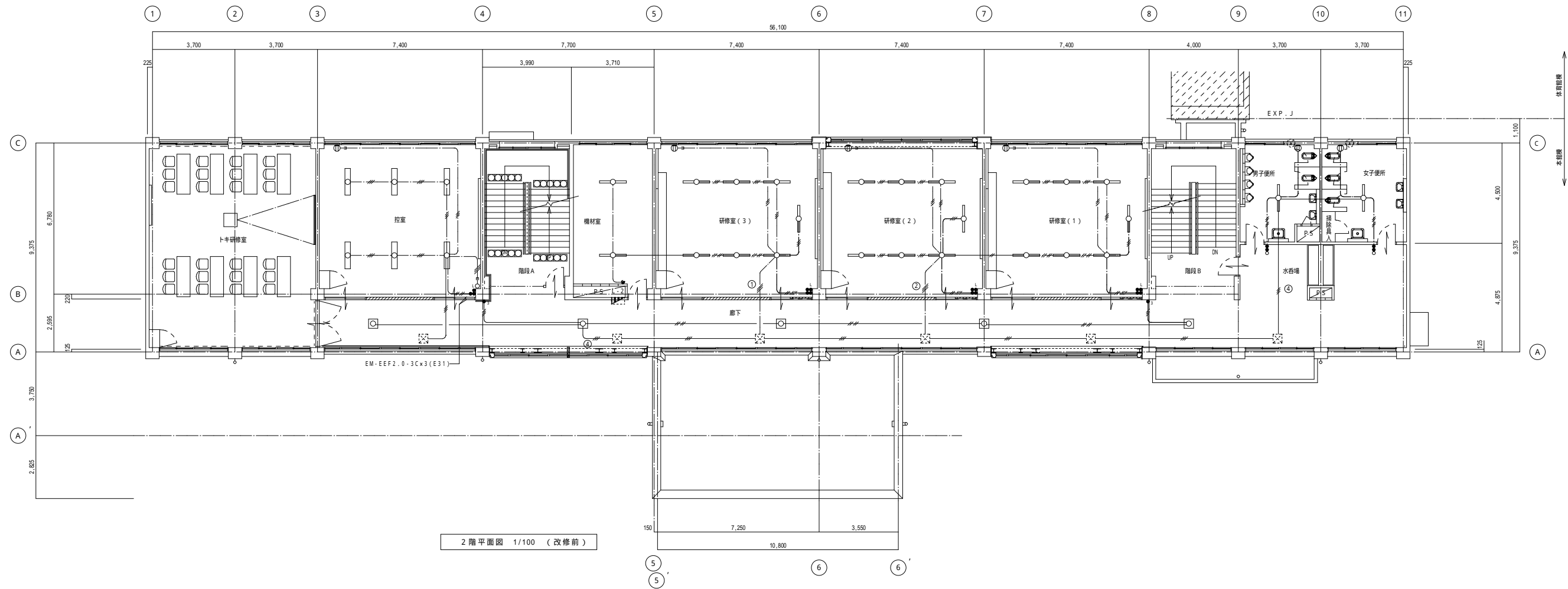
長岡市トキ公開施設建設工事

株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号  
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-6 管理建築士 一級 関十交通大臣登録 第233817号

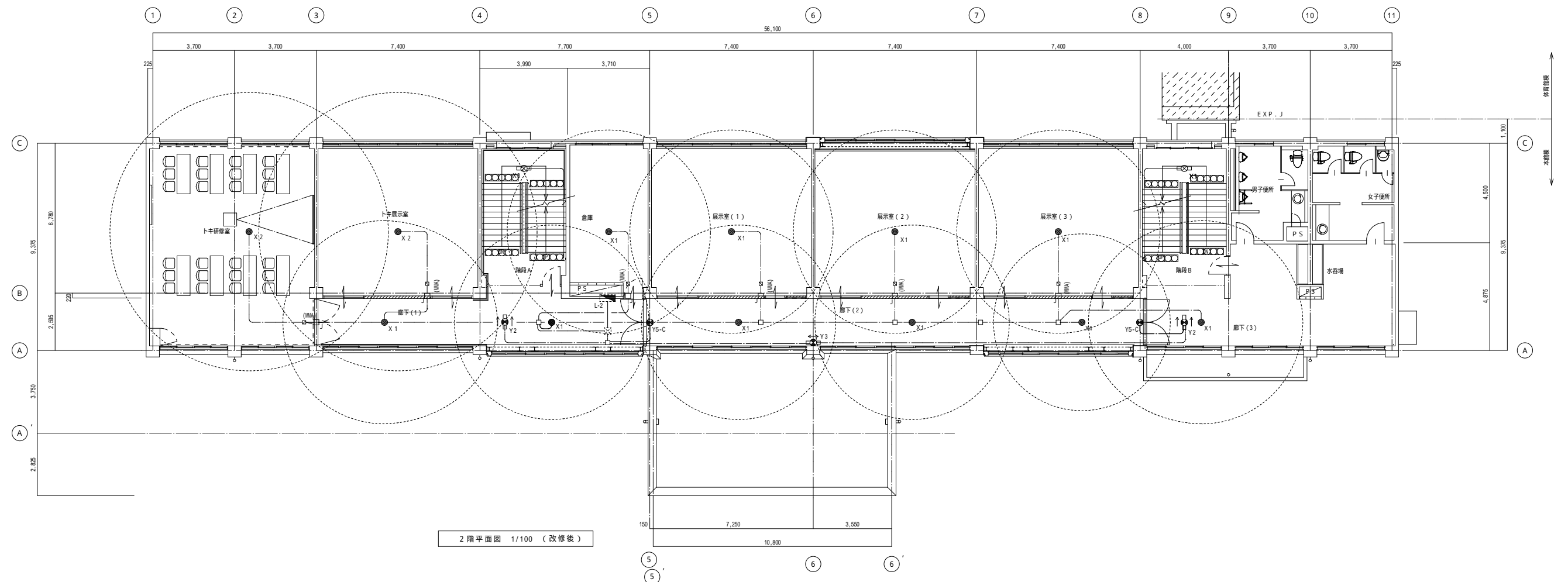
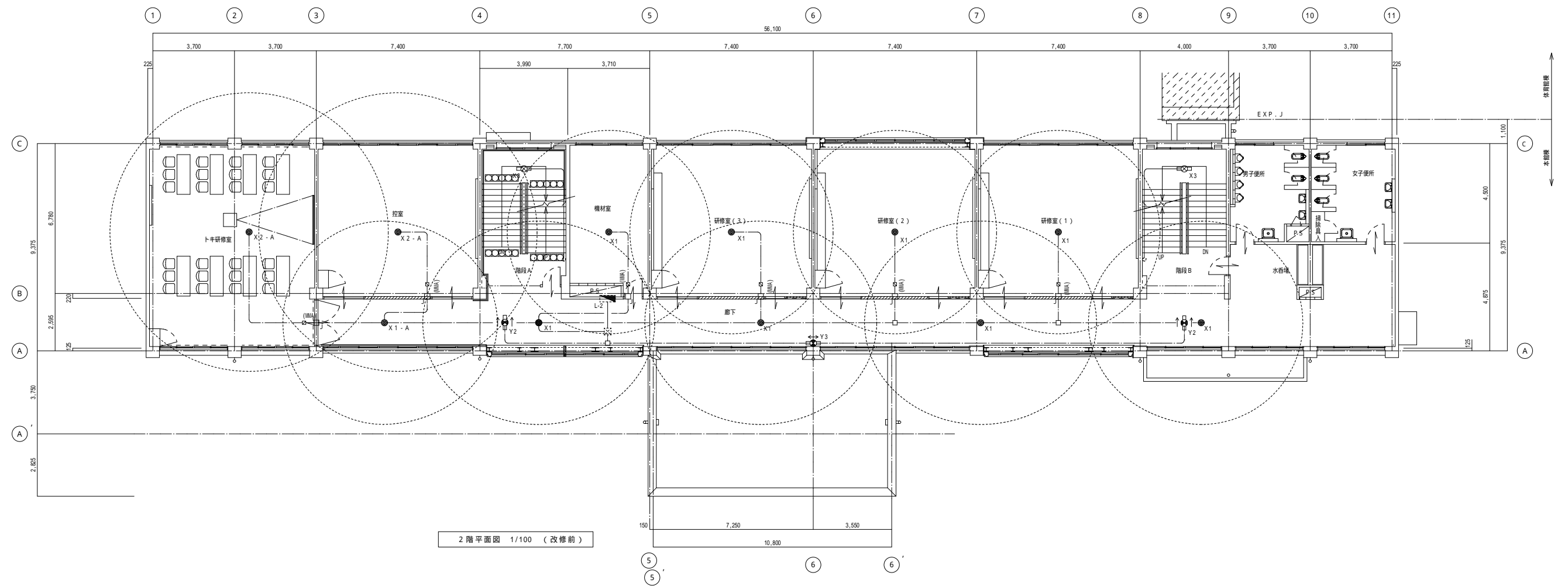
	DATE	2017.03
	DRAIN	

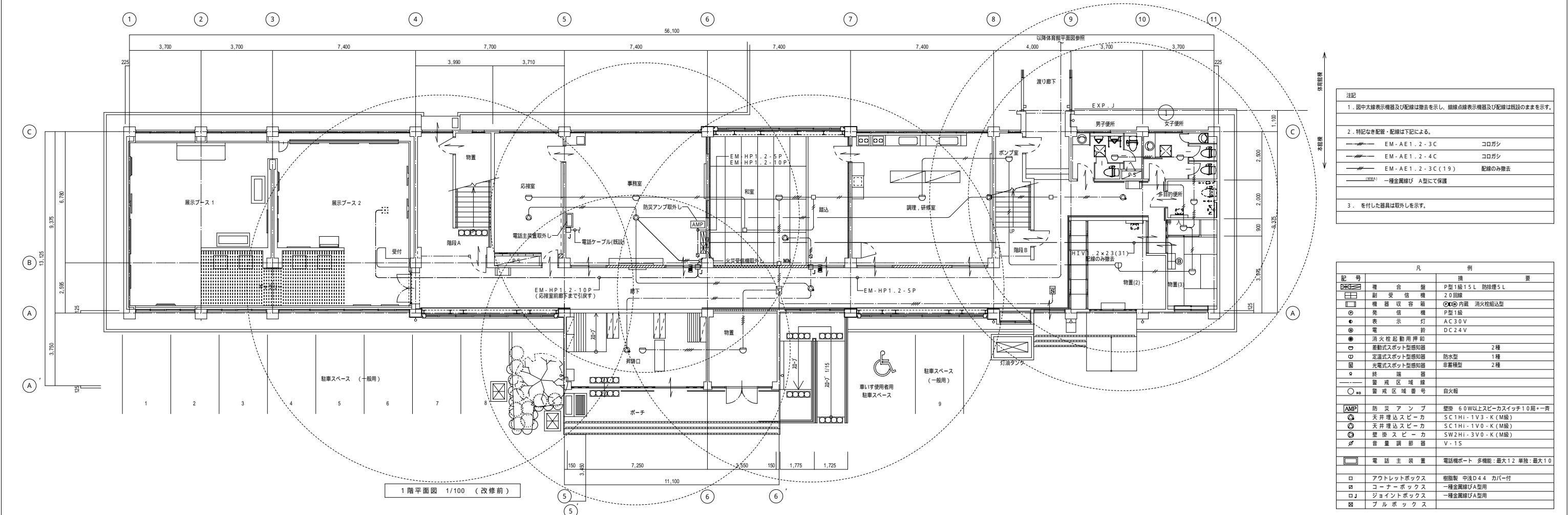
電氣設備 特記仕様書 ( 2 )





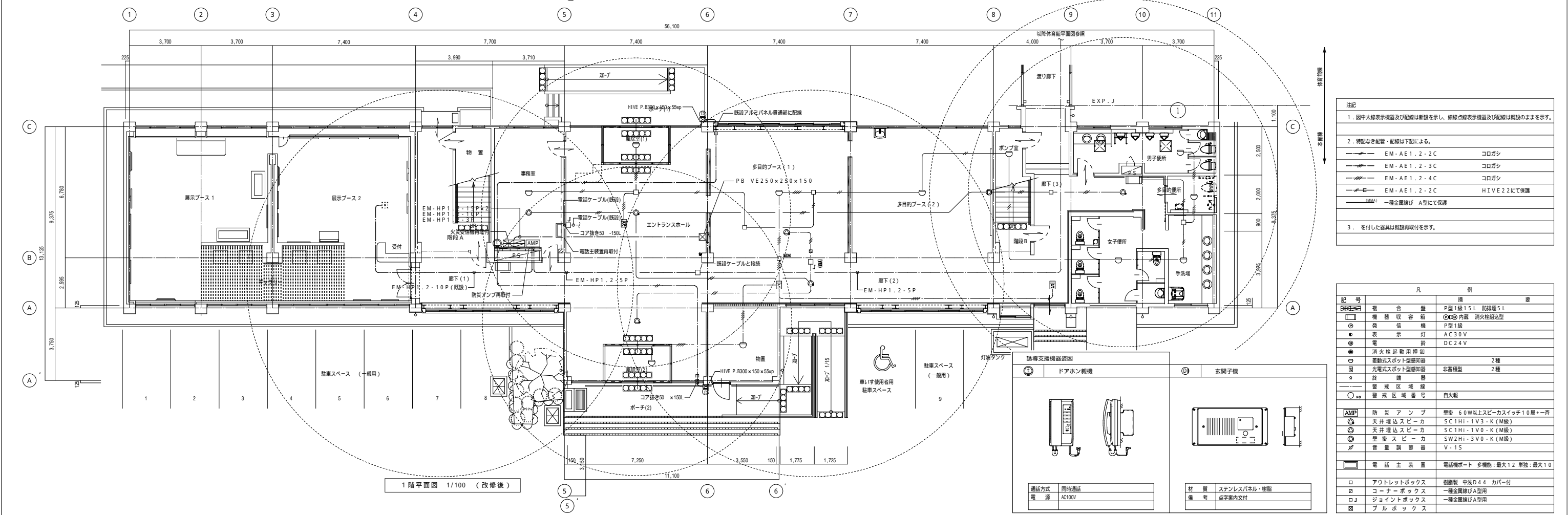






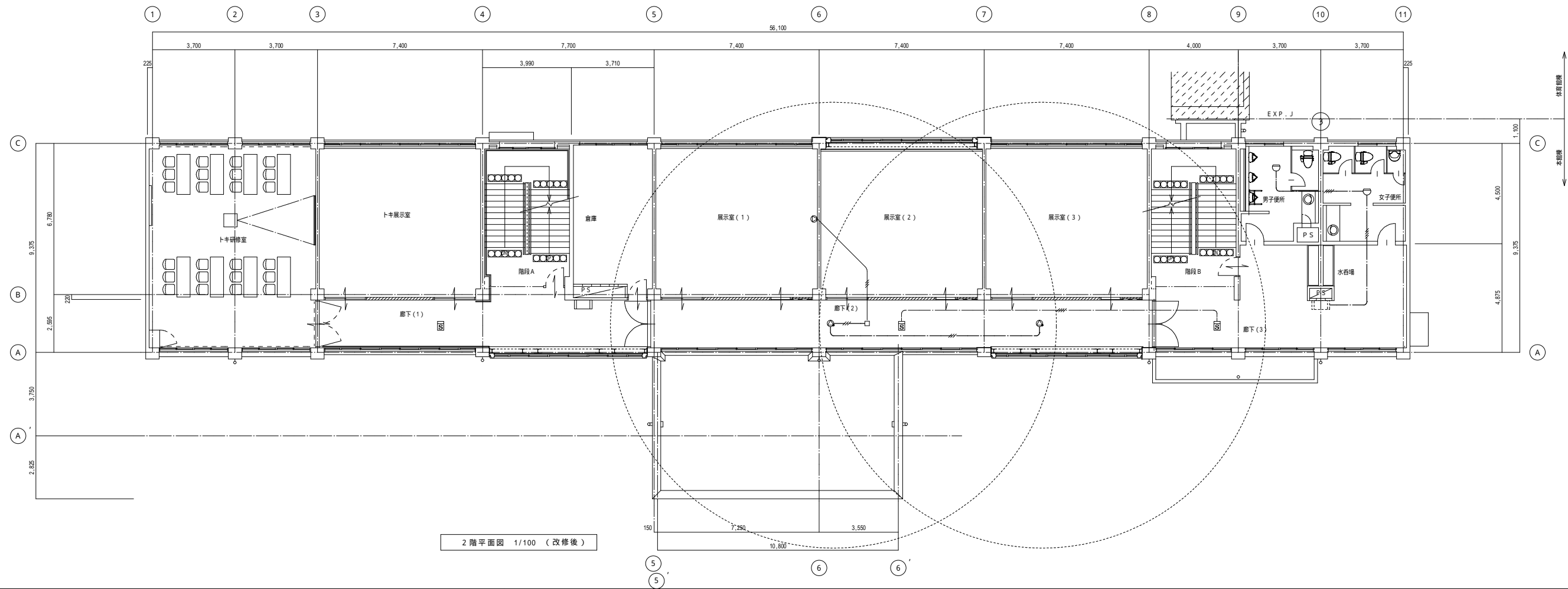
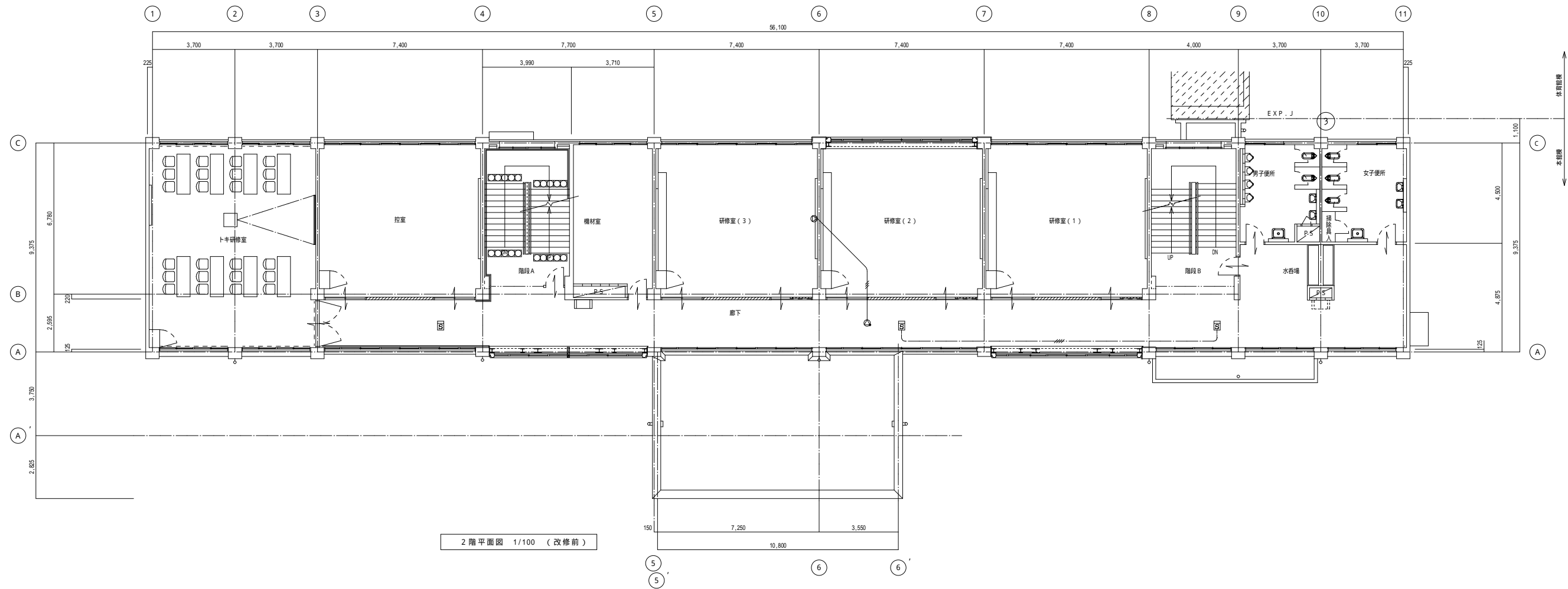
注記	
1. 図中大線表示機器及び配線は撤去を示し、細線点線表示機器及び配線は既設のままを示す。	
2. 特記なき配管・配線は下記による。	
	コロガシ
	コロガシ
	配線の分岐法
	一種金属被り A型にて保護
3. を付した器具は取外しを示す。	

記号	凡	例	要
	複合機	P型15L 防排煙5L	
	副受信機	20回転	
	機器収容箱	内蔵 消火栓組込型	
	発信機	P型15L	
	表示灯	AC30V	
	電鈴	DC24V	
	消火栓起動用押和		
	差動式スポット型感知器		2種
	定温式スポット型感知器		防水型 1種
	光電式スポット型感知器		非蓄積型 2種
	終端器		
	警戒区域線		
	警戒区域番号		自火報
	防炎アンプ	壁掛 60W以上スピーカスイッチ10局一斉	
	天井埋込スピーカ	SC1Hi-1V3-K (M級)	
	天井埋込スピーカ	SC1Hi-1V0-K (M級)	
	壁掛スピーカ	SW2Hi-3V0-K (M級)	
	音量調節器	V-1S	
	電話主装置	電話機ポート 多機能:最大12 単独:最大10	
	アウトレットボックス	樹脂製 中浅D44 カバー付	
	コーナーボックス	一種金属被りA型用	
	ジョイントボックス	一種金属被りA型用	
	プルボックス		

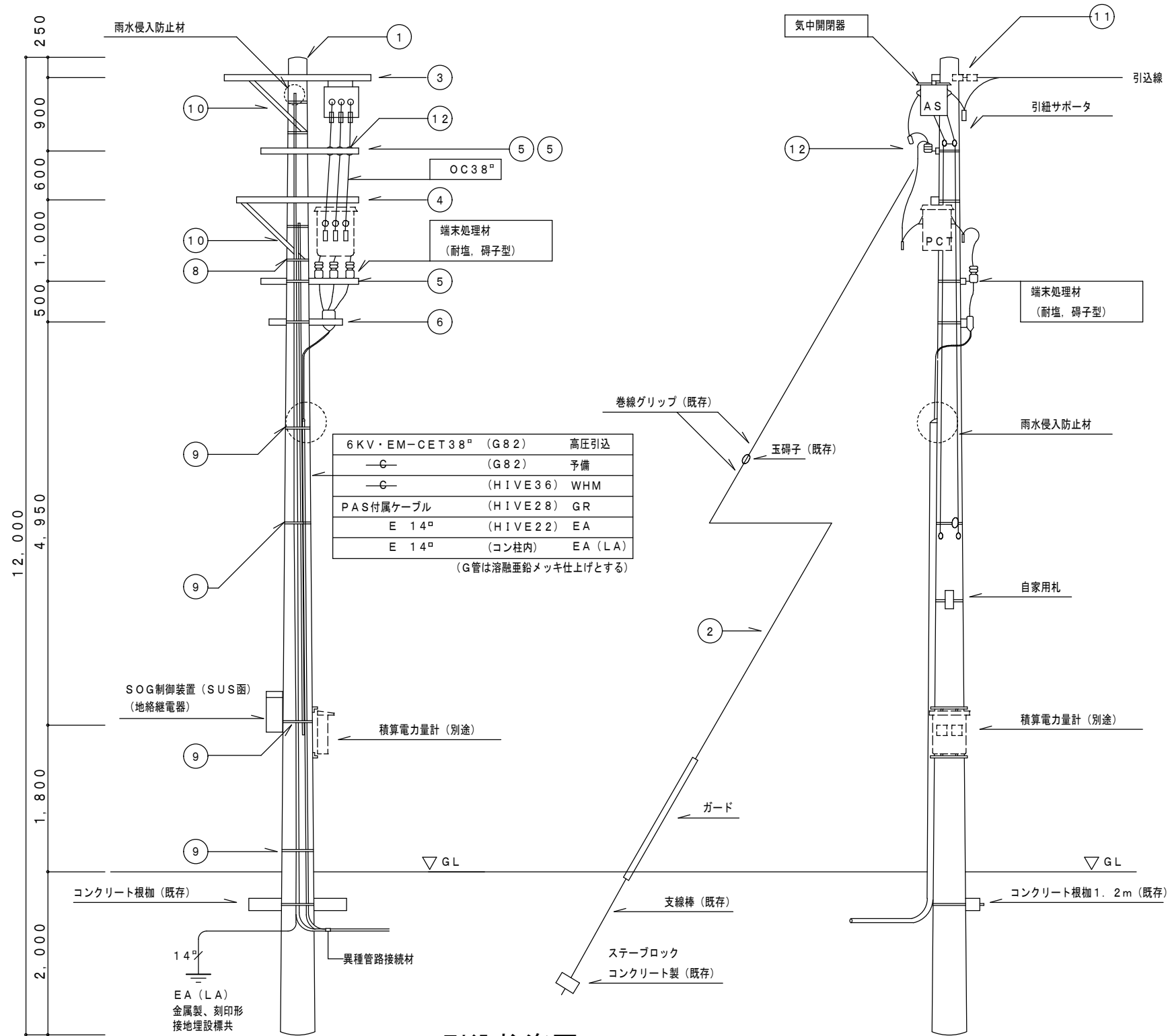


注記	
1. 図中大線表示機器及び配線は新設を示し、細線点線表示機器及び配線は既設のままを示す。	
2. 特記なき配管・配線は下記による。	
	コロガシ
	コロガシ
	コロガシ
	HIVE22にて保護
	一種金属被り A型にて保護
3. を付した器具は既設再取付を示す。	

記号	凡	例	要
	複合機	P型15L 防排煙5L	
	機器収容箱	内蔵 消火栓組込型	
	発信機	P型15L	
	表示灯	AC30V	
	電鈴	DC24V	
	消火栓起動用押和		2種
	差動式スポット型感知器		2種
	光電式スポット型感知器		非蓄積型
	終端器		
	警戒区域線		
	警戒区域番号		自火報
	防炎アンプ	壁掛 60W以上スピーカスイッチ10局一斉	
	天井埋込スピーカ	SC1Hi-1V3-K (M級)	
	天井埋込スピーカ	SC1Hi-1V0-K (M級)	
	壁掛スピーカ	SW2Hi-3V0-K (M級)	
	音量調節器	V-1S	
	電話主装置	電話機ポート 多機能:最大12 単独:最大10	
	アウトレットボックス	樹脂製 中浅D44 カバー付	
	コーナーボックス	一種金属被りA型用	
	ジョイントボックス	一種金属被りA型用	
	プルボックス		

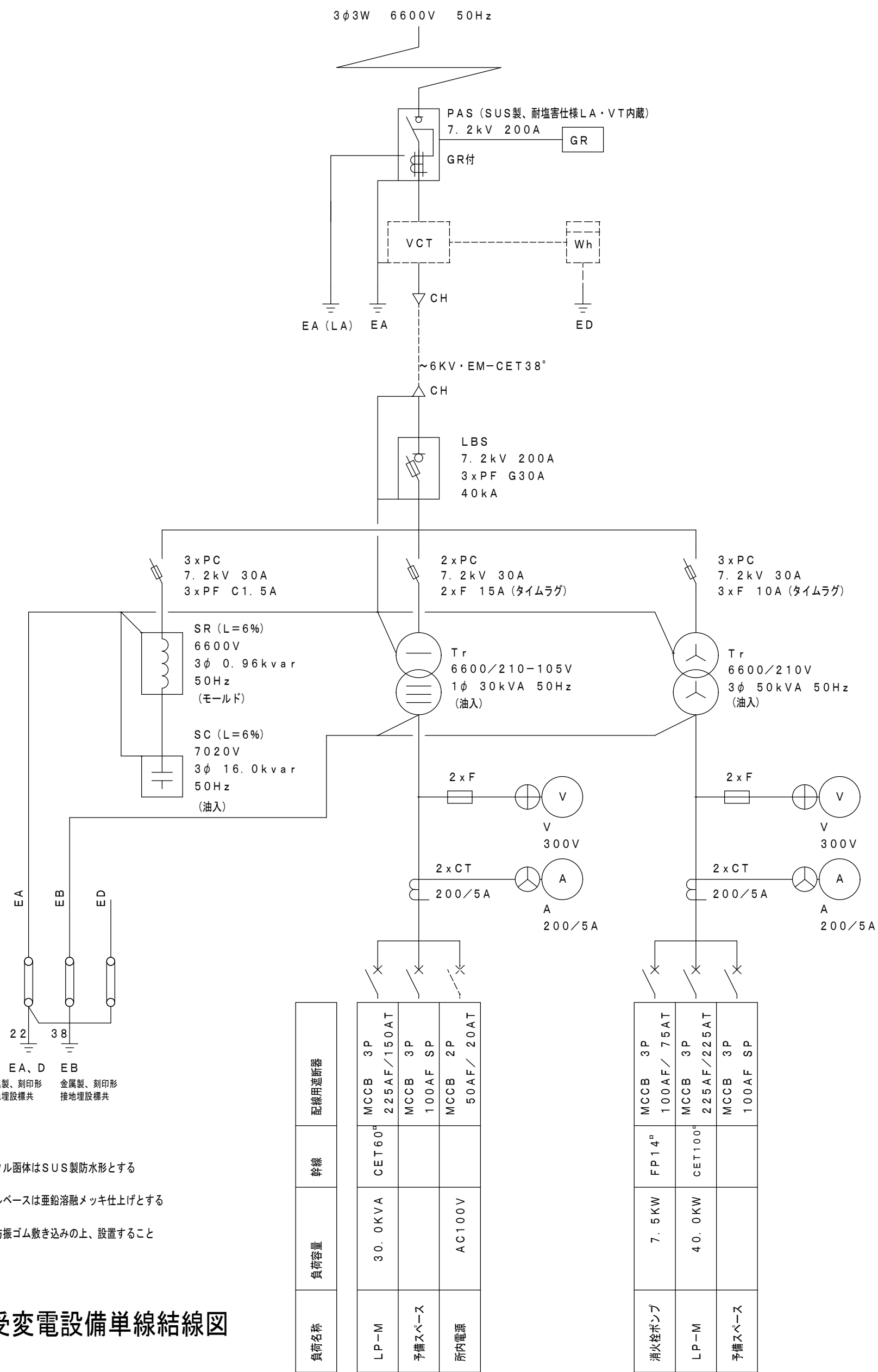






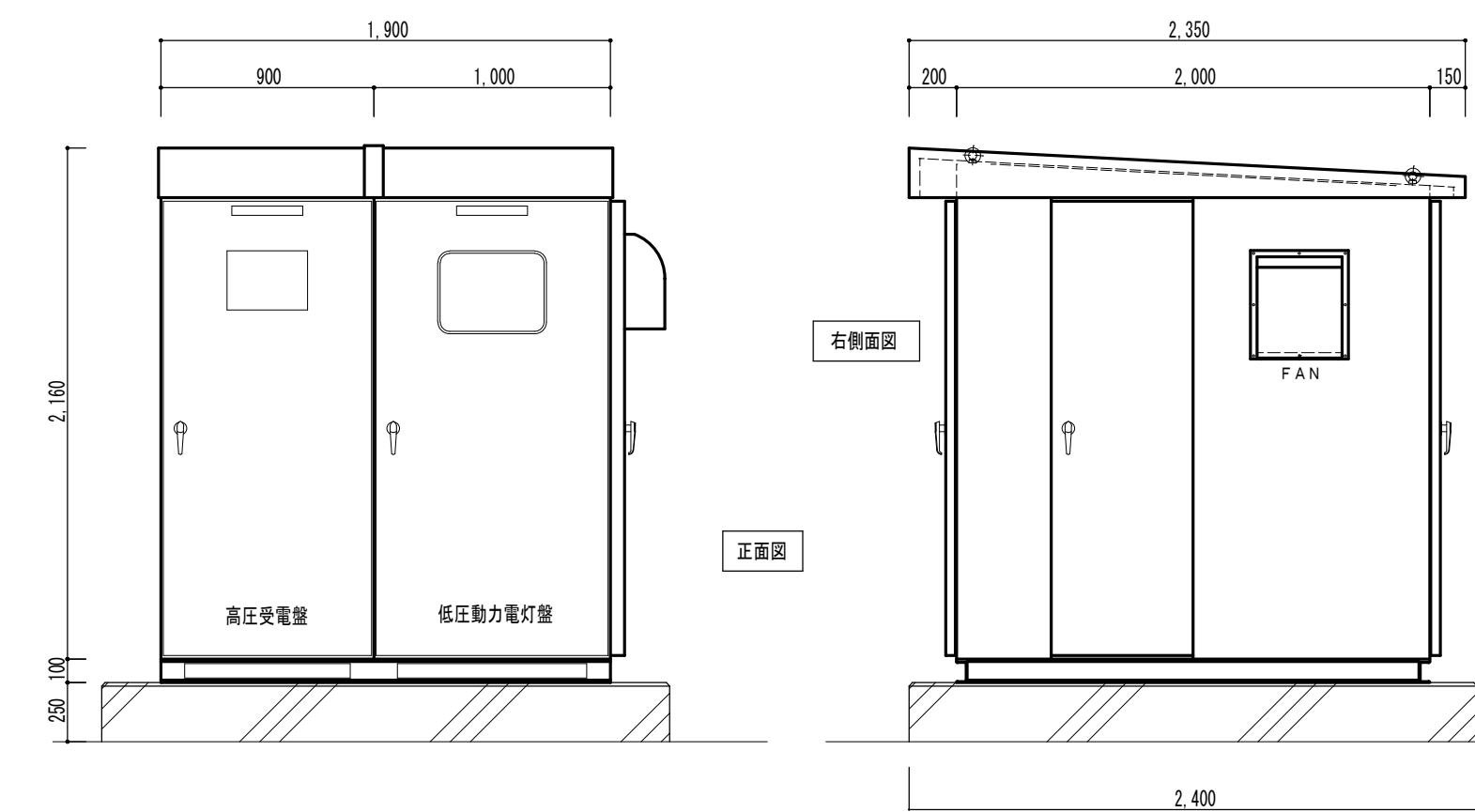
引込柱姿図  
(S=1/150)

引込柱内訳						
番号	名称	規格	単位	数量	備考	
1	コンクリート柱	12m-190φ-350Kg	本	1	既存を利用	
2	支線	22" 亜鉛鍍銀より線	式	1	既存を利用 (耐雪ガード新機付)	
3	経路金	75×75×1.8 とめ	本	1		
4	"	75×45×1.5 とおし	本	1		
5	"	75×45×1.2 とおし	本	2		
6	"	75×45×0.9 とおし	本	1		
7	アームタイバンド		本	5		
8	自在バンド	3BD-HD-17 相当品	本	3		
9	"	1BT-208 相当品	本	6		
10	アームタイ	900	枚	2		
11	中線引掛金物	コン柱用	個	1		
12	端子 6Kv	ピン 耐塩	個	3		

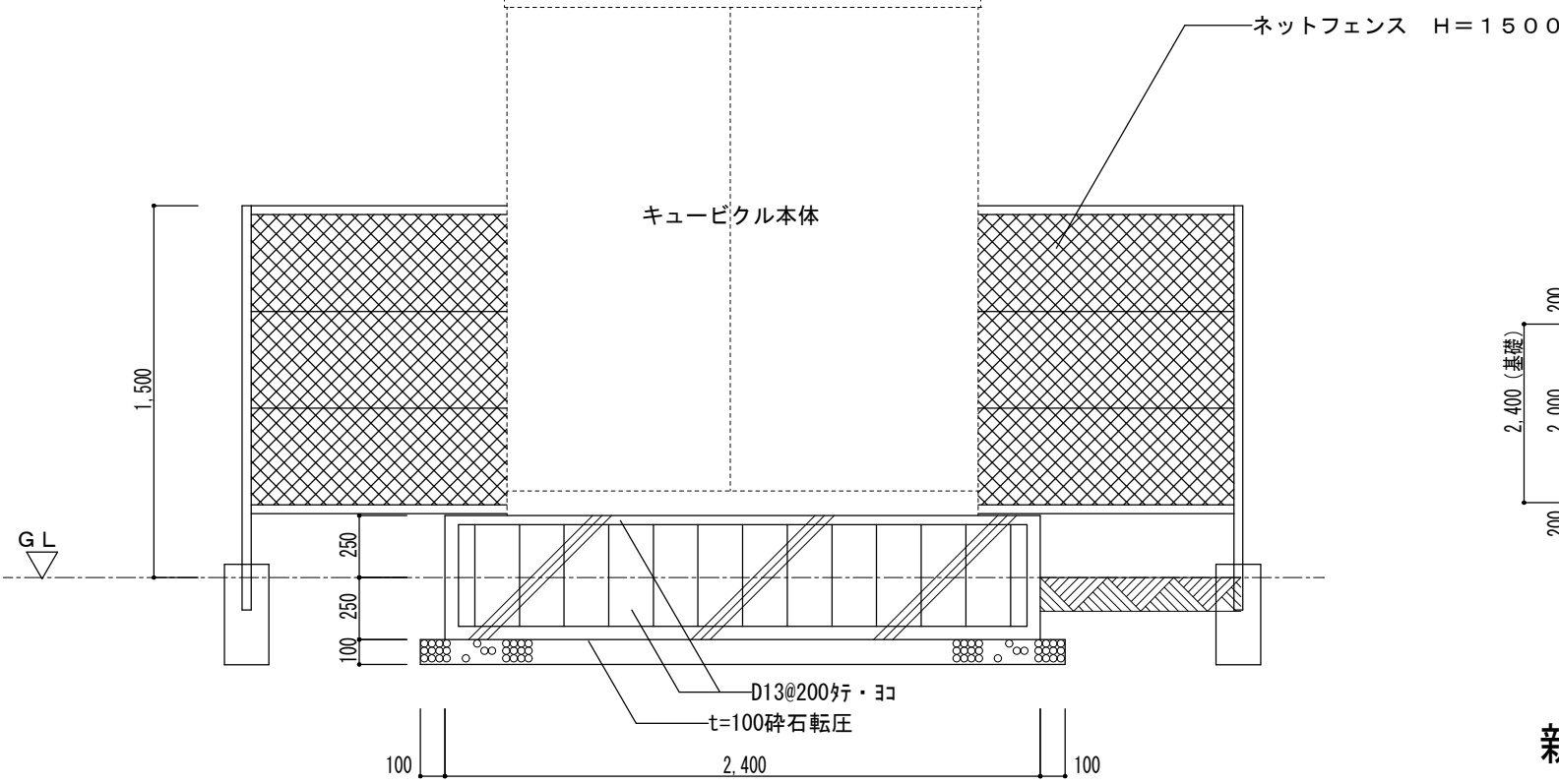


- 凡 例
- キュービクル本体はSUS製防水形とする
  - チャンネルベースは亜鉛溶融メッキ仕上とする
  - 変圧器は防振ゴム敷き込みの上、設置すること

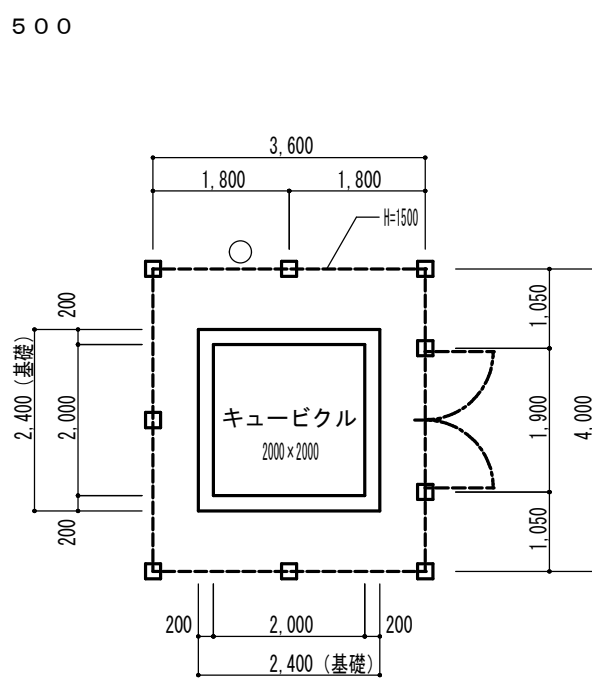
高圧受変電設備単線結線図



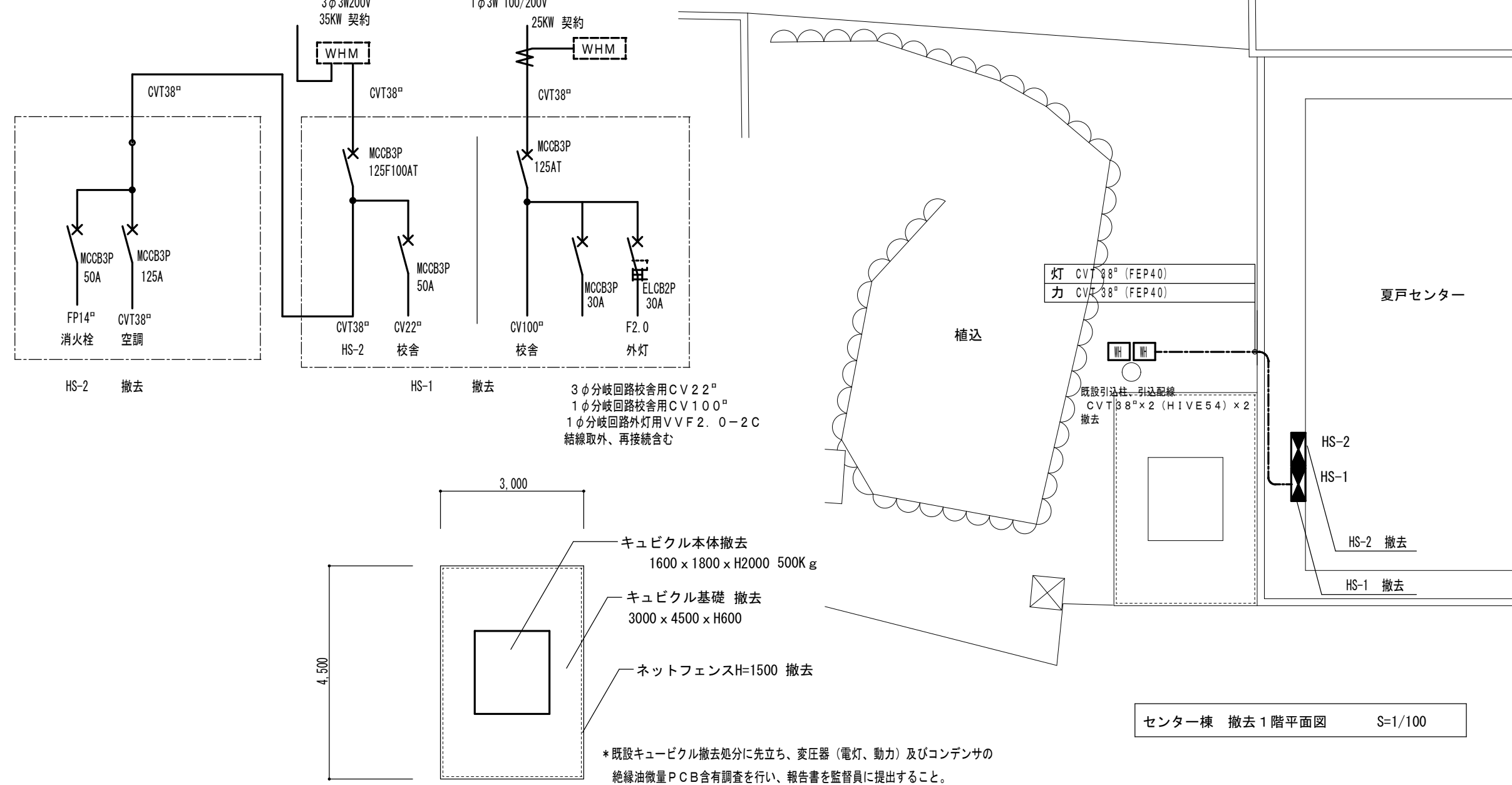
屋外キュービクル姿図  
(S=1/30)



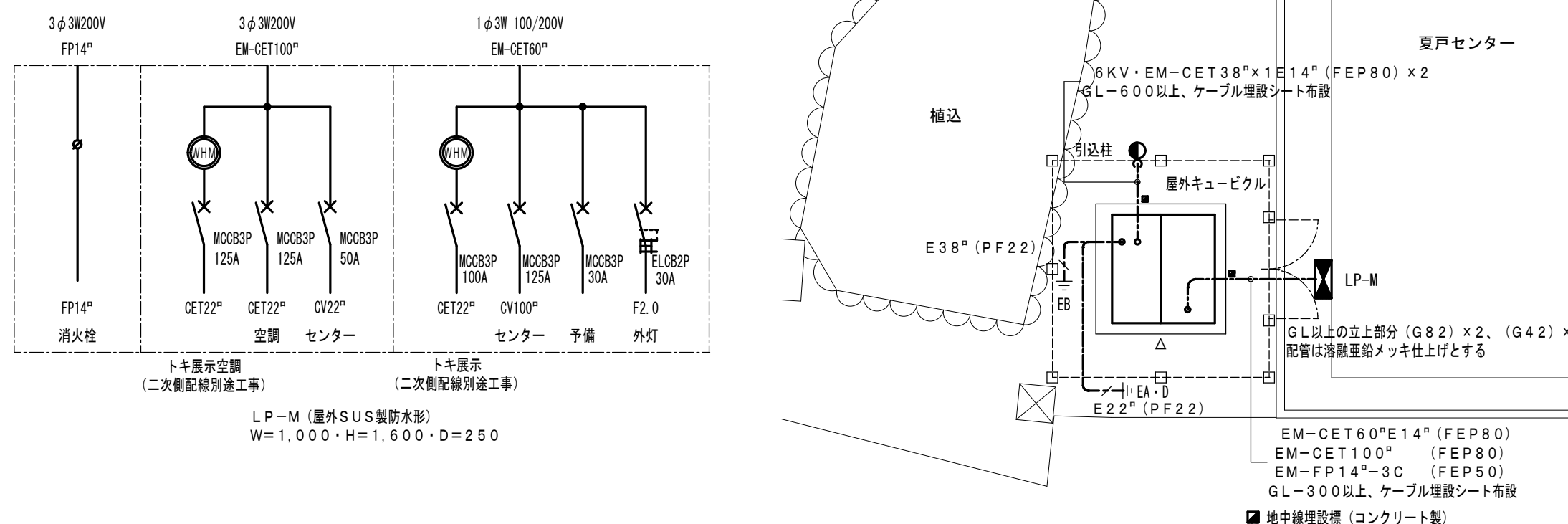
屋外キュービクル基礎・フェンス図  
(S=1/30)



新設屋外キュービクル配置図  
(S=1/100)



既存屋外キュービクル撤去図  
(S=1/100)



センター様 新設1階平面図  
(S=1/100)

ネットフェンス仕様		
部材名	材 質	仕 上
柱	一般構造用圧延鋼材 S400	溶融亜鉛めっき ポリエステル静電粉末焼付塗装
鋼 線	一般構造用圧延鋼材 S400	ポリエスチル静電粉末焼付塗装
金 網	鉄線 鋼	3種亜鉛めっき線 1.1:3mm 目
部 品	熱間圧延鋼板 3%	溶融亜鉛めっき 板 S
ボルト	4	滑融亜鉛めっき 板 S
基 礎	コンクリート	既製コンクリート (メーカー仕様品)

コンクリート	設計基準強度 f <sub>c</sub> =31N/m <sup>2</sup>
鉄筋	S50SA
碎石	再生クラッシャーラン